

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月15日作成)

小委員会名	風荷重小委員会	主査名：田村 哲郎 就任年月：2020年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：塩原 等 主査名：高橋 徹
設置期間	2020年4月 ～ 2022年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>指針の次期改定までの期間を踏まえ、具体的な改定内容と時間的なスケジュールの確定を進める。最近の都市部に来襲した台風により発生した相当数の外装材の被災の事実を考慮し、外装材に作用する風荷重の設定方法に対する理念を検証する。耐風性能に関する推定諸量に対する不確定性定量化、耐風設計に対する気象学的知見の展開方法を検討する。またCFD風荷重算定マニュアルを執筆する。</p> <p>初年度：最近の強風災害を踏まえて、観測・実験あるいは数値計算により強風実態を明らかにし、建築物の強風災害の発生要因を明らかにする。竜巻など突風の特性を吟味する。被災時の風荷重の特性を明らかにし、減災のための方策を検証する。</p> <p>2年度：外装材が有する強度を明らかにし、指針における外装材荷重推定の問題点を検証して改定方法を明確化する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：田村哲郎(東京工業大学) 幹事：岸田岳士(電力中央研究所)、谷口徹郎(大阪市立大学) 委員：小野佳之(大林組)、勝村章(風工学研究所)、喜々津仁密(国土技術政策総合研究所)、近藤宏二(鹿島建設)、佐藤大樹(東京工業大学)、田中英之(竹中工務店)、野津剛(清水建設)、松井正宏(東京工芸大学)、道岡武信(近畿大学)、山田貴博(横浜国立大学)、吉江慶祐(日建設計)、吉川優(大成建設)</p>	
設置WG (WG名：目的)	<p>設計風速WG：荷重指針に盛り込むべき設計風速の諸元の検討 CFD風荷重評価WG：耐風設計におけるCFDの性能評価 風複合被害分析WG：強風に伴う複合的な要因による被害事例の把握 風疲労設計WG：疲労設計(評価)手法の構築 局所気象WG：台風や突風等の特性の吟味、耐風設計への反映 CFD不確定性の定量化WG：CFDにおける不確定性の定量化(UQ)の検討</p>	
2020年度予算	260,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：—

項目	自己評価
委員会開催数	4回(年度内計画を含む) 6/5、8/17、10/15、1/7
刊行物(シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物(シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 風荷重の評価の現指針の課題をまとめ、不確実性評価などの準備を進めた。 2. 外装材の強風被害を吟味し、外装材用風荷重の妥当性・課題を検証 3. CFD風荷重算定マニュアルの出版に向け具体的内容について吟味
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指針改定に向けてその根拠を示すための学術的成果の不足 2. 風荷重設定に関する基本的理念の整備の必要性